

危機管理・健康福祉常任委員会 議事次第

令和8年5月14日（木）

午後1時30分～

於：第5委員会室

1 開 会

2 委員会活動のまとめ

3 そ の 他

4 閉 会

危機管理・健康福祉常任委員会 出席要求理事者名簿

【危機管理監】	
※ 危機管理監 (危機管理部長兼務)	山 本 哲 也
※ 副危機管理監 (危機管理部副部長兼務)	武 部 一 郎
危機管理監付企画参事	万 所 ル ミ
危機管理監付企画参事	福 井 克 実

【危機管理部】	
危機管理部防災監	藤 本 雅 一
危機管理部理事 (災害対策課長事務取扱)	山 本 健 一
危機管理総務課長	西 山 宜 昌
災害対策課参事	三 野 哲 也
※ 災害対策課参事 (消防保安課参事兼務)	瀧 本 敦 史
原子力防災課長	古 橋 勝 也
消防保安課長	齊 藤 整

【健康福祉部】	
健康福祉部長	井 原 正 裕
健康福祉部保健医療対策監	奥 田 司
健康福祉部副部長 (総括・総務担当)	南 部 慎 一
※ 健康福祉部副部長 (地域包括担当)	松 尾 治 樹
健康福祉部副部長(子育て・福祉担当) (こども・子育て総合支援室長兼務)	大 島 史 也
健康福祉部副部長 (健康担当)	十 倉 孝 之
健康福祉部理事 (業務課長事務取扱)	橘 昌 利
※ こども・子育て総合支援室企画参事	古 田 良 明
健康福祉総務課長	村 上 哲 司
※ 健康福祉総務課参事	上 田 純
※ 健康福祉総務課参事	貴 田 嘉 郎
※ 高齢者支援課長	田 中 弘 和
※ 医療保険政策課長	長 岡 正 尚
地域福祉推進課長	宮 村 匡 彦
※ 障害者支援課長	山 口 健 司
家庭・青少年支援課長	一 色 恭 行
健康対策課長	戸 田 英 和
※ 感染症予防・対策課長	三 輪 有 弘
医療課長	古 川 浩 気

(計 30 名)

※ 新任理事者
職名変更

京都府議会

危機管理・健康福祉常任委員会

活動報告書(案)



令和8年5月 日

委員	長	家	元	優
副委員	長	磯	野	勝
副委員	長	上	倉	淑
委員		池	田	正
委員		青	木	義
委員		津	田	裕
委員		西	山	龍
委員		楠	岡	誠
委員		島	田	敬
委員		田	中	富士
委員		増	田	大
委員		小	鍛	治
				義
				広

目次 京都府議会 危機管理・健康福祉常任委員会 活動報告書

- 1 委員会の審議等の状況（概要）
- 2 委員会活動状況
- 3 重要課題調査のための委員会
- 4 付託議案及び審査依頼議案審査結果
- 5 付託請願審査結果
- 6 管内外調査
- 7 委員会活動のまとめ

1 委員会の審議等の状況（概要）

本委員会は、危機管理部及び健康福祉部の所管並びにそれに関連する事項を所管している。

各部局の主な所管事項は下表のとおりである。

部局名	主な所管事項
危機管理部	危機管理対応、消防・防災、原子力防災対策
健康福祉部	保健、医療、衛生、健康増進、子育て支援、青少年、社会福祉、社会保障

京都府議会の各常任委員会では、年4回の定例会において、条例案などの審査を行うほか、議会の閉会中に委員会を開催して、府政の重要課題について、テーマを設けて集中的に審議するとともに、京都府内や他府県に赴いて調査を実施している。

今期の危機管理・健康福祉常任委員会の閉会中の常任委員会においては、所管事項に関するテーマについての議論を深めるため、参考人制度を活用して、専門的知見を有する方や実際に事業に従事している方の意見を聴取し、テーマに関する議論を掘り下げた。

また、管内調査では、府の施策等が実施されている現場を訪問し、関係者から説明を聴取するとともに、現地視察を行った。

管外調査では、先進事例や府と共通する課題に対して、他の自治体や関係団体がどのような取組を実施しているのか、もしくはどのように対応しようとしているのかを調査した。

2 委員会活動状況

時期	活動	議題・テーマ
5 月		
R7. 5.23	委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■委員長の選任 ■副委員長の選任 ■副委員長の順位
6 月		
R7. 6. 9	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■出席要求理事者 ■確認事項 ■本日の委員会運営
R7. 6. 9	委員会 (初回)	<ul style="list-style-type: none"> ■出席要求理事者 ■確認事項 ■所管部局の事務事業概要等 ■今後の委員会運営
R7. 6.20	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R7. 6.24	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (6定1日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項の聴取 (危機管理部) <ul style="list-style-type: none"> ・包括外部監査結果に基づく措置状況について (危機管理部・健康福祉部) <ul style="list-style-type: none"> ・京都府国土強靱化地域計画の改定(中間案)について <p>■付託議案及び審査依頼議案(質疑終結まで)</p>
R7. 6.25	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (6定2日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■付託議案(討論・採決) ■審査依頼議案(適否確認) ■付託請願の審査 ■所管事項の質問 ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
8 月		
R7. 8. 7 ～ R7. 8. 8	管外調査	<ul style="list-style-type: none"> ■所管事項の調査 ○佐賀県議会〔於：佐賀県防災航空センター〕 <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県防災航空隊における消防・防災活動について ・施設視察 ○佐賀県議会〔於：佐賀県医療的ケア児支援センター〕 <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県における医療的ケア児の支援状況について ○福岡県、特定非営利活動法人セルフセンター福岡、福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園 〔於：福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園〕

		<ul style="list-style-type: none"> ・複数の障がい者施設で共同作業を行う「福岡モデル」について ・施設視察 ○福岡市議会〔於：福岡市民防災センター〕 <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市における防災・減災の取組について ・施設視察
R7. 8. 19	正副委員長会	■本日の委員会運営
R7. 8. 19	委員会 (閉会中)	■所管事項の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「医療的ケアを必要とする方とその家族への支援について」 参考人：京都の医療的ケアを考える会（KICK） 副会長 辻 真一 氏
9 月		
R7. 9. 4	管内調査	○第74回京都府社会福祉大会 (行催事等委員会調査)
R7. 9. 22	正副委員長会	■定例会中の委員会運営 ■今後の委員会運営
R7. 9. 25	委員会 (9定1日目)	■報告事項の聴取 (危機管理部・健康福祉部) <ul style="list-style-type: none"> ・京都府国土強靱化地域計画の改定（最終案）について ・「関西広域連合 第6期広域計画（中間案）」について (健康福祉部) <ul style="list-style-type: none"> ・第3次京都府自殺対策推進計画の策定について ・健康福祉部所管施設における指定管理者の選定について ■付託議案（質疑終結まで）
R7. 9. 26	委員会 (9定2日目)	■付託議案（討論・採決） ■所管事項の質問 ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
11 月		
R7. 11. 21	正副委員長会	■本日の委員会運営
R7. 11. 21	委員会 (閉会中)	■所管事項の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「消防団の充実強化について」 参考人：消防団等充実強化アドバイザー 勝宮 章 氏

12 月		
R7.12.10	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R7.12.11	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (12定1日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項の聴取 (危機管理部) <ul style="list-style-type: none"> ・関西防災・減災プラン(総則編、地震・津波災害対策編、感染症対策編(新型インフルエンザ等))の改訂(中間案)について (健康福祉部) <ul style="list-style-type: none"> ・第3次京都府自殺対策推進計画の策定(中間案)について <ul style="list-style-type: none"> ■付託議案及び審査依頼議案(質疑終結まで)
R7.12.12	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (12定2日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■付託議案(討論・採決) ■審査依頼議案(適否確認) ■所管事項の質問 ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
1 月		
R8.1.26	管内調査	<ul style="list-style-type: none"> ■所管事項の調査 ○京都舞鶴港第3ふ頭〔於：舞鶴21ビル〕 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の孤立対策について ・現地視察(京都舞鶴港ヘリポート) ○綾部市議会〔於：綾部市こども発達支援施設「あいむ」〕 <ul style="list-style-type: none"> ・綾部市における児童発達支援について ・施設視察
3 月		
R8.3.3	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R8.3.6	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (2定1日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■付託議案及び審査依頼議案(質疑終結まで)
R8.3.7	管内調査	○天皇盃第37回全国車いす駅伝競走大会 開会式 (行催事等委員会調査)
R8.3.8	管内調査	○天皇盃第37回全国車いす駅伝競走大会 出発式、閉会式 (行催事等委員会調査)

R8. 3. 9	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (2定2日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■付託議案(討論・採決) ■審査依頼議案(適否確認) ■付託請願の審査 ■所管事項の質問 ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
4 月		
R8. 4. 15	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■本日の委員会運営
R8. 4. 15	委員会 (閉会中)	<ul style="list-style-type: none"> ■所管事項の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域包括ケアシステムの現状と今後の展望について」 <p style="margin-left: 40px;">参考人：京都府地域包括・在宅介護支援センター 協議会 会長 一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局長(社会福祉士) 川北 雄一郎 氏</p>
5 月		
R8. 5. 13	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■臨時会中の委員会運営
R8. 5. 14	委員会 (5 臨)	<ul style="list-style-type: none"> ■委員会活動のまとめ

3 重要課題調査のための委員会

(1) 医療的ケアを必要とする方とその家族への支援について

(令和7年8月19日(火)開催)

■開催概要

人工呼吸器の管理やたんの吸引等の医療的ケアを日常的に必要とする方が、地域で安心して生活できるよう支援が必要である。

京都府では、「京都府医療的ケア児等支援センター」(愛称:ことのわ)において、医療的ケアを必要とする方やその家族等の相談に応じるとともに、医療、保健、福祉、教育等関係機関との連携による切れ目ない支援ができるよう、連絡調整や関係機関に従事する方への情報提供、研修等を実施している。

今回の委員会では、医療的ケアを必要とする方とその家族への支援について、参考人及び理事者から説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

京都の医療的ケアを考える会(KICK) 副会長 辻 真一 氏

■出席理事者

【健康福祉部】

健康福祉部副部長(子育て・福祉担当)(こども・子育て総合支援室長兼務)、
こども・子育て総合支援室企画参事、健康福祉総務課長、
障害者支援課長、障害者支援課参事、健康対策課長

■主な質問事項

- ・行政が取り組むべき支援について
- ・孤立対策について
- ・災害時の対応について
- ・関係従事者の育成について
- ・家庭でのハード面の環境整備について など

(2) 消防団の充実強化について

(令和7年11月21日(金)開催)

■開催概要

大規模災害をはじめ、激甚化・頻発化する風水害等に備え、地域防災力の中核を担う消防団の万全な体制を構築するためには、消防団員の更なる確保と充実強化が不可欠となる。

京都府では、消防団の活性化を図るため、消防団の自主的な取組を支援するとともに、消防団員の確保等に取り組んでいる。

今回の委員会では、消防団の充実強化について、参考人及び理事者から説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

消防団等充実強化アドバイザー 勝宮 章 氏

■出席理事者

【危機管理監】

危機管理監（危機管理部長兼務）、副危機管理監（危機管理部副部長兼務）

【危機管理部】

危機管理部防災監、危機管理部理事（災害対策課長事務取扱）、
危機管理総務課長、消防保安課長

■主な質問事項

- ・消防団員の確保について
- ・消防団の今後の在り方について
- ・機能別消防団員について
- ・消防団員の報酬について
- ・消防団員と町内会長等他の役割との兼職について など

(3) 地域包括ケアシステムの現状と今後の展望について

(令和8年4月15日(水)開催)

■開催概要

京都府では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「あんしん社会」を構築するため、医療、介護、福祉のサービスを一体的に提供する地域包括ケアの実現に向けて介護予防体制を強化するとともに、京都地域包括ケア推進機構を中心にオール京都体制での取組を推進している。

今回の委員会では、地域包括ケアシステムの現状と今後の展望について、参考人及び理事者から説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長
一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局長 (社会福祉士)
川北 雄一郎 氏

■出席理事者

【健康福祉部】

健康福祉部副部長 (地域包括担当)、健康福祉総務課長、
高齢者支援課長、高齢者支援課両参事、地域福祉推進課長、医療課長

■主な質問事項

- ・身寄りのない高齢者への支援について
- ・福祉現場での生産性向上について
- ・ケアマネジャーのシャドーワークの状況について
- ・地域包括支援センターの体制について
- ・宇治市における認知症施策について など

4 付託議案及び審査依頼議案審査結果

「◎」は全会一致、「○」は賛成多数、「×」は否決、「会派名＝少」は少数意見留保、「＊」は修正案提出

(委員会)

	議案番号	件名	審査結果	備考
6月定例会	3	災害からの安全な京都づくり条例一部改正の件	◎	
	5	京都府精神保健福祉総合センター条例等の一部を改正する条例一部改正の件	◎	
	6	京都府立学校授業料等徴収条例一部改正の件	◎	
	12	損害賠償請求事件に係る和解の件	◎	
9月定例会	4	京都府防災会議条例一部改正の件	◎	
	6	住民基本台帳法施行条例一部改正の件	◎	
12月定例会	4	京都府認定こども園の認定等の要件等に関する条例等一部改正の件	◎	
2月定例会	23	京都府国民健康保険事業費納付金の徴収に関する条例一部改正の件	○ 共＝少	
	24	青少年の健全な育成に関する条例一部改正の件	◎	
	28	財産無償貸付けの件(保育所用地)	◎	
	29	指定管理者指定の件(洛南寮)	◎	
	30	指定管理者指定の件(東山母子生活支援施設)	◎	
	31	指定管理者指定の件(桃山学園)	◎	
	32	指定管理者指定の件(心身障害者福祉センター)	◎	
	33	指定管理者指定の件(視力障害者福祉センター)	◎	
	34	指定管理者指定の件(こども発達支援センター)	◎	
	38	京都府自殺対策推進計画を定める件	◎	

(分科会)

	議案番号	件名	詳細審査結果
6月定例会	1	令和7年度京都府一般会計補正予算(第1号)中、所管事項	適当
	14	令和7年度京都府一般会計補正予算(第3号)中、所管事項	適当
12月定例会	30	令和7年度京都府一般会計補正予算(第7号)中、所管事項	適当
2月定例会	44	令和7年度京都府一般会計補正予算(第12号)中、所管事項	適当
	46	令和7年度京都府母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	適当
	54	令和7年度京都府国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	適当
	57	令和7年度京都府病院事業会計補正予算(第2号)	適当
	60	衛星通信系防災情報システム整備事業に関する市町村負担金を定める件	適当

5 付託請願審査結果

定例会	受理番号	受理年月日	件名	審査結果
6月定例会	769	令和7年6月16日	医療・介護労働者の持続的賃金改善を 国に求めることに関する請願	不採択
2月定例会	773～779	令和8年2月16日	京都府の補聴器公的補助制度実現を求 めることに関する請願 ほか6件	不採択

6 管内外調査

① 管外調査

(令和7年8月7日(木)～8日(金))

1 佐賀県議会〔於：佐賀県防災航空センター〕(佐賀県佐賀市)

【調査事項】

佐賀県防災航空隊における消防・防災活動について

【調査目的】

京都府における消防・防災活動の参考とするため、佐賀県防災航空隊の取組について調査する。

【説明】

佐賀県防災航空センター

【調査内容】

佐賀県では、災害時の情報収集や救助・救急・消火活動などの緊急要請に迅速に対応するため、令和3年1月に防災航空センターを設置し、同年3月に消防防災ヘリコプター「かちどき」の運用を開始した。

防災航空隊は、救助活動等を担う活動班とヘリの操縦や整備を担う運航班で組織され、活動班は県内5つの消防本部等から派遣された9名の消防士で編成される。

活動内容は、災害発生直後の情報収集や山岳・水難事故における捜索・救助などの「緊急運航」と、市町や各消防本部等が実施する訓練への参加や自隊訓練などの「通常運航」に分かれており、自隊訓練に加え、県内の消防本部や海上保安庁、警察、他県の航空隊等との合同訓練も実施している。

令和3年8月に武雄市で発生した豪雨災害では、ヘリテレ(ヘリコプターテレビ伝送システム)で空から災害の状況を撮影し県庁内の災害対策本部に映像を送り情報収集を行ったほか、令和5年9月に七ツ釜で発生した水上バイク事故では、独特の地形で地上からの引き上げが困難だったため、空から救助活動を実施した。また、九州では、消防防災ヘリコプターの県境を越える出動に関して相互応援協定を締結しており、令和6年度は、大分県や熊本県からの応援要請に基づき、山岳での救助活動も行ったとのことであった。

【主な質問事項】

- ・大規模災害時における自治体間の相互応援について
 - ・災害時における情報共有について
 - ・平常時の活動について
 - ・警察ヘリやドクターヘリとの連携について
- など



調査事項を聴取



かちどきを視察

2 佐賀県議会〔於：佐賀県医療的ケア児支援センター〕（佐賀県佐賀市）

【調査事項】

佐賀県における医療的ケア児の支援状況について

【調査目的】

京都府における医療的ケア児の支援施策の参考とするため、佐賀県の取組について調査する。

【説明】

佐賀県健康福祉部障害福祉課

佐賀県医療的ケア児支援センター

【調査内容】

佐賀県では、医療的ケア児とその家族のためのワンストップ窓口を立ち上げるため、令和3年2月議会で県単独の予算が成立。「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の施行に先立ち、令和3年7月に相談窓口「佐賀県医療的ケア児在宅生活ホットライン」を開設した。その後、同法の成立に伴い、ホットラインの機能を拡充する形で令和4年4月からは「佐賀県医療的ケア児支援センター」に名称を変更した。

同センターは、重症児・医療的ケア児の支援事業所である一般社団法人あまねが運営を担っており、①医療的ケア児及びその家族・支援者への相談支援、②関係機関のネットワーク構築と支援者育成、③災害時の支援や就園・就学支援、成人移行期支援などの伴走支援に取り組んでいる。

センター長が在宅医療に従事する小児科医であることから、在宅診療医を中心とした関係機関との連携体制を構築するとともに、地域ごとの社会資源と課題を把握した上で、社会資源の開発や人材育成にも取り組んでいる。また、「医療的ケア児」から「医療的ケア者」への成人移行には課題があることから、全てのライフステージに伴走できるセンターを目指すとともに、全国の支援センターやコーディネーター、事業

者と連携し、佐賀県における医療的ケア児支援の更なる充実に努めていきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 医療的ケア者の課題について
- ・ 親なき後の支援について
- ・ 医療資源との連携について など



調査事項を聴取

3 福岡県、特定非営利活動法人セルフセンター福岡、福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園〔於：福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園〕（福岡県大野城市）

【調査事項】

複数の障がい者施設で共同作業を行う「福岡モデル」について

【調査目的】

京都府における障害のある方の就労支援の場づくりの参考とするため、複数の障がい者施設で共同作業を行う「福岡モデル」について調査する。

【説明】

福岡県福祉労働部障がい福祉課
特定非営利活動法人セルフセンター福岡
福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園

【調査内容】

福岡県では、令和3年に公益財団法人日本財団と「働く障がいのある人の支援のための連携協定」を締結し、障害のある方の工賃向上に向けた取組を進めている。令和4年からは、特定非営利活動法人セルフセンター福岡と連携し、障害のある方のための「就労支援の場」の設置を推進しており、現在では福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園を含め県内4か所に開設している。

就労支援の場は、障害のある方や就労が困難な方が働く場であると同時に、一般企

業等への就職にもつながる場となることを目指している。福岡県独自の取組として、仕事に必要な機器等を整備した就労支援の場に、複数の障害者施設から利用者が通所し、共同で1つの業務に取り組む体制を構築している。業務内容としては、国立国会図書館の蔵書や県公文書等のデジタル化業務を共同受注しており、人手不足の補完ではなく、仕事の中心的な役割を担うことで、難易度の高い業務への挑戦が可能となる環境を整備している。また、複数の施設から障害特性の異なる方が集まることから、参加施設が対等な関係を築けるよう、情報共有を重視するとともに、個々の作業適正を踏まえたチーム体制を構築している。

今後は、デジタル化業務の更なる受注拡大を図るとともに、関係施設や利用者の拡大、一般就労への移行促進、職域の拡大に取り組みたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・業務の受注について
- ・施設同士の連携について
- ・作業の割り振りについて など



調査事項を聴取



施設視察

4 福岡市議会〔於：福岡市民防災センター〕（福岡県福岡市）

【調査事項】

福岡市における防災・減災の取組について

【調査目的】

京都府における防災・減災の参考とするため、福岡市の取組について調査する。

【説明】

福岡市市民局地域防災課
福岡市市民局防災企画課
福岡市消防局防災センター

【調査内容】

福岡市では、過去の豪雨災害や平成17年の福岡県西方沖地震の教訓を踏まえ、防災に関する広報啓発をはじめ、防災アプリ「ツナガル+（プラス）」の開発・普及等、防災・減災に向けた取組や避難所の環境改善等に取り組んでいる。

平成29年度から市独自に「備蓄促進ウィーク」を設定し、市内の各店舗での防災グッズやローリングストックに適した食品等のコーナーの設置や、パソコンやスマートフォンを活用してマイ・タイムラインが作成できるマイ・タイムライン作成ツールを提供するなど、市民の防災意識の向上を図っている。

防災アプリ「ツナガル+」は、平成28年の熊本地震において、車中泊など指定避難所以外に避難した方の状況把握に課題があったことをきっかけに開発された。本アプリを通じて、指定避難所以外の場所に避難した被災者が避難場所や被災状況、支援の要望を行政に発信することが可能となり、行政側はその情報を利用して必要な物資の配送等、迅速かつ的確な支援を行うことが可能となった。加えて、避難所やハザードマップの確認、エリア通知による情報受信機能も備えている。

また、令和6年の能登半島地震の教訓を踏まえ、災害時に被災者へ迅速に温かい食事を提供するため、企業やボランティア、キッチンカー等の関係団体との連携を進めるなど、T（トイレ）、K（キッチン）、B（ベッド）に関する課題解決に向け、取組を進めているとのことであった。

【主な質問事項】

- ・福岡県との連携について
- ・自主防災組織との連携について
- ・防災アプリの普及啓発について
- ・災害時における学校給食室の活用について など



調査事項を聴取

危機管理・健康福祉常任委員会 管外調査日程

令和7年

月日	発着地	発時刻	着時刻	摘要
8月7日 (木)	京都駅2階 新幹線中央口 8:35 集合、 8:47 出発			
	京都駅	8:47		【のぞみ5号】
	博多駅	11:40	11:30	【徒歩】
	(昼食)	(11:45~12:30)		(福岡県福岡市内)
				【借上バス】
	佐賀県議会 〔於：佐賀県防災航空センター〕 (佐賀県佐賀市)	15:30	14:00	◆佐賀県防災航空隊における消防・防災活動について ①概要説明 ②施設視察
	佐賀県議会 〔於：佐賀県医療的ケア児支援センター〕 (佐賀県佐賀市)	17:00	16:00	◆佐賀県における医療的ケア児の支援状況について
	宿舎		17:10	(佐賀県佐賀市内)
8月8日 (金)	宿舎	9:00		【借上バス】
	福岡県、 特定非営利活動法人セल्पセンター福岡、 福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園 〔於：福岡県障がい者就労支援ホーム あけぼの園〕 (福岡県大野城市)	11:30	10:00	◆複数の障がい者施設で共同作業を行う「福岡モデル」 について ①概要説明 ②施設視察
	(昼食)	(12:00~12:50)		(福岡県福岡市内)
	福岡市議会 〔於：福岡市民防災センター〕 (福岡県福岡市)	14:30	13:00	◆福岡市における防災・減災の取組について ①施設視察 ②概要説明
	博多駅	15:36	14:55	【のぞみ44号】
	京都駅		18:19	【解散】

② 管内調査

(令和8年1月26日(月))

1 京都舞鶴港第3ふ頭〔於：舞鶴21ビル〕〔現地視察：京都舞鶴港ヘリポート〕 (舞鶴市)

【調査事項】

災害時の孤立対策について

【調査目的】

孤立可能性地域における空路や海路による救助・物資輸送の体制整備や、地域防災力の強化に向けた取組など、災害時の孤立対策について調査する。

【説明】

危機管理部災害対策課

【調査内容】

近年、気候変動の影響などにより風水害が激甚化・頻発化するとともに、花折断層帯地震や南海トラフ地震など地震発生切迫性が増している。また、令和6年能登半島地震では、大規模な土砂崩壊等により道路が寸断され、広範囲にわたり孤立集落が多数発生した。

京都府では、能登半島地震の教訓等を踏まえ、第四次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランを策定。京都府北部も能登半島と似た地形であり、孤立集落が発生する可能性があることから、災害時の孤立対策を進めている。

京都舞鶴港は、大規模災害発生時に防災関係機関の集結や全国からの救援物資の集配などを行う広域防災活動拠点の1つとなっていることから、救助のための体制の強化等のため、今年度、大型ヘリの離発着が可能なヘリポートを整備した。さらに、令和8年3月には、航空運用体制を確保するための可搬式給油スタンドや必要な資機材の配備も予定している。

また、広域防災活動拠点から孤立集落に人員や物資を迅速に輸送できるよう、市町村が実施する孤立可能性地域におけるヘリポート整備を支援しており、令和8年度以降、舞鶴市田井地区及び綾部市奥上林地区で整備が予定されている。

今後も、孤立可能性の高い地域における空路・海路による救助能力や支援部隊等の受援体制の強化を進めるとともに、府民一人一人が災害時に素早く避難行動ができるよう、自助を促す取組も進めていくとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ヘリポートの整備について
- ・ヘリポートの設置場所について
- ・ヘリの運用について

- ・自衛隊との連携について
- ・タイムラインの作成状況について など



調査事項を聴取



ヘリポートを視察

2 綾部市議会〔於：綾部市こども発達支援施設「あいむ」〕（綾部市）

【調査事項】

綾部市における児童発達支援について

【調査目的】

府内の児童発達支援の参考とするため、綾部市の取組について調査する。

【説明】

綾部市健康こども部

【調査内容】

発達障害については、就学前に診断名がついていることは少なく、綾部市では、乳幼児健診や市内のこども園・保育園・4歳児クラスの子どもの対象に健康観察・集団観察を行う年中児発達サポート事業等により早期発見に努め、必要な支援につなげている。

令和7年5月には、綾部市こども発達支援施設「あいむ」を開所し、支援が必要な子どもやその家族が安心して地域で暮らすことができるよう、児童発達支援等を行っている。

同施設では、①主に未就学児を対象に、小集団での遊びを通して運動・認知・言語・社会性などの発達を促し、自信や意欲を育てる「児童発達支援」、②小学生を対象に、放課後や夏休みなどの休業日に自立支援や余暇支援を行い、社会参加を促す「放課後等デイサービス」、③職員が子どもの通う保育園や教育機関等を訪問し、子どもが過ごしやすくなるよう必要な支援を検討し、環境調整を図る「保育所等訪問支援」などを行っている。

児童発達支援やデイサービスでは、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5つの領域を重視し、職員が狙いや

意図を持って活動を計画し、子ども一人一人に応じたコミュニケーションを心がけている。また、保育所等訪問支援は、児童が普段過ごす集団にアウトリーチで支援できる取組であり、今後更に広げていく方針である。

こうした取組を通じ、子どもの健やかな発達を支えていく地域の拠点施設として、その役割を発揮していきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・子どもの様子や支援内容の記録・共有について
- ・子どもの特性に合った支援について
- ・送迎について
- ・施設のリノベーションについて

など



調査事項を聴取



施設視察

危機管理・健康福祉常任委員会 管内調査日程

令和8年

月日	発着地	発時刻	着時刻	摘要
1 月 26 日 (月)	議会棟 8:25 集合、8:30 出発			
	議会棟	8:30		【借上バス】
	京都舞鶴港第3ふ頭 〔於：舞鶴21ビル〕 (舞鶴市)	12:00	10:30	◆災害時の孤立対策について ①概要説明 ②バス移動 (15分) ③現地視察 (京都舞鶴港ヘリポート)
	(昼食)	(12:40~13:30)		(綾部市内)
	綾部市議会 〔於：綾部市こども発達支援 施設「あいむ」〕 (綾部市)	15:10	13:40	◆綾部市における児童発達支援について ①概要説明 ②施設視察
議会棟		16:55	【解散】	

テレビ取材

7 委員会活動のまとめ

5月臨時会の委員会（令和8年5月14日開催）において、各委員から、1年間の「委員会活動のまとめ」として、本委員会の所管事項に関する総括的な所感や、意見・要望等の発言があった。

以下、その内容を発言順に記載した。